

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	利用者一人ひとりを尊重し、人生の先輩として尊敬する心を常に持つことが出来ていない。	個々の意識改革が必要。利用者を自分と置き換えてどのような介護を受けたいか、どのような施設を選びたいかを考えると必ずから利用者中心の支援になると思う。	職員一人ひとりが年間目標を挙げ、面接の機会に達成のチェック、反省をする。他人からの評価も必要である。その為には一人ひとりが毎日「今日はどうだったか」を振り返って心に問いかけてみる習慣をつける。	12ヶ月
2	6	立地条件が悪く、危険を伴う為、玄関開放は難しいが別の事で利用者に開放感を感じてもらおうよう支援したい。また、職員側の考え、行動になりがちである。	身体拘束はないが薬、言葉によるものはゼロではない。まず、そのことに全員が気付き、何が拘束なのか再学習する。利用者が我慢や窮屈な思いをしないよう支援する。	身体、薬、言葉による拘束はしなかったか、職員同士がその都度チェックする。それには職員が強い信念と勇気を持って正しいアドバイスが出来るようになる。一人ひとりがお互いに努力し、良い信頼関係を作ることが必要である。	6ヶ月
3	14	個人別にはCDとテキストで平等に受講しているが回覧伝達での職員全員の研修は最近出来ていない。	外部研修で習得した者が苑内研修で全員に周知し、個人でのCD研修も続けて取り組む。回覧伝達研修を復活させ全員が受講出来る様にする。	2ヶ月に1回の苑内研修で人権教育・啓発活動を取り上げ、職員全員が身近なものにし、考える時間を作る。	12ヶ月
4	8	今回の外部評価に伴う家族アンケートにより制度の説明が出来ていないとあった。	いつでも制度を活用できるよう知識を修得しておく。そのために外部研修や苑内研修受講に取り組む。新しい入所者、家族には契約時に説明する。	外部研修受講者が苑内研修で職員全員に周知する。入所者には契約時にパンフレットを準備し、説明する。	12ヶ月
5	51	年間の大きな外出は計画を立て、実行できているが、ちょっとした散歩や外気浴はまだまだ少ない。短時間でも外気(自然)に触れるよう支援したい。	型通りの毎日ではなく、機会を見つけ、少人数での散歩、外気浴で外の景色を楽しむ様支援する。	散歩、外気浴、外出をサービスの一つに入れ、職員全員に実行を呼びかけチェックをする。	1ヶ月